

第9期(2022年度)事業計画

1. 事業目標

自己研鑽活動 訪問看護認定看護師としての自己研鑽、もしくは訪問看護の質の向上に資する内容を実施する。

地域貢献活動 自身の経験を活かし、訪問看護認定看護師が社会資源となるような活動を行う。

組織力強化 組織力を高め、社会へ情報発信を行う。

2. 事業内容

自己研鑽活動

(1) ブロック活動

①自己研鑽の研修 ②交流会 ③研究活動 ④地域向け研修会 ⑤会議 ⑥その他 を主な活動とし、全国9ブロックで年間2回程度の活動を実施。9月までに次年度計画提出する。

(2) 総会及び同時開催研修会・交流会

協議会会員が一堂に会する場を、合計2回設ける。春期はオンライン、秋期はハイブリッドを予定。

【評価】いずれも報告書提出及びアンケートにて満足度を評価する（8割満足目標）

地域貢献活動

(3) 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動

① 座談会式相談会「訪問看護相談カフェ」を1回開催（会員より4名選出+1名理事）

② ①の参加者の中から希望者のみマンツーマンでの相談「個別 Web 相談」を1回開催（①兼任）

③ 多機能化を検討している方向けのオンラインセミナー（多機能化開設事例）を1回開催。協議会 HP で会員の多機能化事業所を紹介（会員より2名選出+1名理事）

【評価】①及び③ 各参加者20名の実施・アンケートにて満足度評価（8割満足目標）

(4) 報酬改定に向けた活動

2024年度W改定に向けた提言案の作成（会員より2名選出+1名理事）

【評価】前年度実施調査を元に提言テーマの決定と提言内容の作成。次年度の提出計画をたてる

(5) 訪問看護認定看護師による書籍製作

協議会会員の知識と経験を詰め込んだ書籍の制作

(6) 在宅看取りを实践できる訪問看護師の育成研修の、事後調査活動

2021 年度に日本財団支援事業で実施した研修会の参加者へ事後調査を実施し、研修会参加後の変化などを計る

組織力強化

(7) ホームページや SNS 管理及び P R 活動

ホームページや Facebook による情報発信、事業報告書及びパンフレットの制作・配布、理事会年 3 回実施・理事ブロック長合同会議年 2 回実施・入会促進 PR

【評価】協議会パンフレット・活動報告書・入会率の向上（訪問看護認定看護師の 6 割確保）

(8) 法人化 10 周年プロジェクト

在宅ケア認定看護師の受入れに伴う組織体制の整備と、2023 年度の法人化 10 周年に向けた企画検討